

平成28年度 事業報告（公益事業）

<公1：食と栄養の科学と実務技術の発展を図る事業>

県民の健康・栄養状態とその改善課題を、栄養・運動・休養の各方面から総合的に明らかにする調査及び研究、疾病別・年齢別にこれに適合した食事・栄養摂取指導法の考案、物産を活かした県民ニーズに適う献立・レシピの開発などにより、食と栄養に関する科学と実務技術の発展を図る。

A. 栄養・健康に関する調査研究

『科学的な専門スキルを用いて、健康・栄養に関する調査研究を実施し、県民の健康・栄養状態とその課題を、栄養・運動・休養の各側面から総合的に明らかにする』。

(A-1. 小児生活習慣病対策事業) *日向市東臼杵郡医師会委託 【担当】日向事業部

日向市東臼杵郡医師会が企画・実施する『小児生活習慣病対策事業』に参画し、病態の危険因子を持った生活習慣病予備軍の子どもに対し、食事内容についての読み取り調査・分析、分析結果に基づく個別指導を行い、さらに食育講話、食育出前講座を行った。

○食事調査

【対象者】日向市の小学4年生・中学1年生の要観察・要医療の生徒 229名

【実施期間】7月～(H29)3月

【担当栄養士】26名

○個別栄養相談・指導

【実施人数】16名

【実施期間】11月～12月

【担当栄養士】6名

○食育講話

【内容】1/20日(参加者)美々津中学校 5,6年生 21名、保護者、教諭

2/28日(参加者)財光寺小学校 6年生 78名

【担当栄養士】各1名

○食育出前講座

【内容】①12/8日(参加者) 東郷学園小学部 4年生 24名、保護者 【担当栄養士】7名

②12/14日() 東郷学園中学部 1年生 21名 【 ” 】5名

③12/15日() 富高小学校 4年生 81名 【 ” 】5名

④12/15日() 美々津中学校 1年生 23名 【 ” 】5名

⑤ 1/11日() 平岩小中学校 8年生 21名 【 ” 】6名

⑥ 1/31日() 塩見小学校 4年生 23名、保護者 15名 【 ” 】8名

⑦ 2/9日() 平岩小中学校 6年生 27名 【 ” 】4名

⑧ 3/2日() 財光寺中学校 1年生 90名 【 ” 】5名

3/9日() ” 60名 【 ” 】4名

(A-2. メディカルチェック事業)

宮崎県体育協会（スポーツ医・科学委員会）が実施する「メディカルチェック」に協力し、メディカルチェックの検査データからより具体的な指導につなげた。

【実施期間】10月

【対象者】県内の高校生でスポーツ医科学委員会が実施しているメディカルチェックに参加している高校生

【内容】集団食事指導 80名

【競技】カヌー、ボクシング、ウエイトリフティング、ラグビー

【担当】栄養ケア・ステーション

(A-3. 宮崎ワールドアスリート発掘・育成プログラム)

体力・運動能力に優れた小学生を選考し、将来本県や日本のリーダーとしてスポーツ界を牽引できる人材の育成を図り、本県出身のオリンピック等、国際大会におけるメダル獲得や第81回国民体育大会における天皇杯獲得を目指すことを目的とした宮崎県の事業について、食・栄養・健康に関する指導等を実施した。

【実施期間】平成28年4月～平成29年3月

【対象者】宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト 1期生 50名

【担当】栄養ケアステーション

B. 調査研究助成事業

『栄養・健康増進に関する調査研究を促進するため、調査研究テーマ（県民の栄養および健康増進に関するもの）をホームページ等にて公募し、選考委員会の選考により適切と思われる調査研究について、必要とされる費用の全部または一部（1件につき50万円以内・1年度内3件まで）を助成した。』

〔公募期間〕平成27年12月1日～平成27年12月25日

〔選考〕平成28年2月

〔平成28年度助成〕なし（応募なし）

C. 献立およびレシピの開発事業

『調査研究の成果を生かし、県民のニーズと栄養学的要請に適った献立・レシピを開発した。』

(C-1. 各種施設の献立作成支援)

栄養士のいない施設等からの依頼を受け、疾病・年代別に応じた食と栄養の支援をテーマとした献立を開発し、提供した。

【主な提供先】

- 医院 5件（産婦人科1件・内科3件・整形外科1件）
- 福祉関係 2件（有料老人ホーム1件・障がい者施設1件）
- その他 1件（社員寮1件）

(C-2. 県民のためのレシピ開発)

県の特産物の活用など県民のニーズに応じた献立・レシピを開発した。

○NHK「宮崎を食べよう」コーナーに関するレシピ開発

- ・(都城事業部) 10/15 (水) 大盛り食べても低カロリー料理
 - ① もりもりもやしの簡単マーボー
 - ② たっぷりぷりぷり！いかとこんにゃくのみそ炒め
 - ③ カミカミ満腹！豆腐ハンバーグ

- ・(日向事業部) 9/22 (木) 亜鉛たっぷり料理
 - ① 豚レバーの野菜巻き
 - ② 牛肉グラタン
 - ③ かぼちゃアーモンド

(C-3. アスリートフード開発) *みやざき観光コンベンション協会委託事業

県内外アスリートを受け入れているホテルメニューの栄養成分分析を行い、ホテルとの協議を重ね、県の特産物を活かし郷土料理をアレンジしたアスリートフードを開発した。

- 貧血・減量・増量3つのテーマに基づくレシピ各10種類合計36種類 開発
- 「みやざきアスリートフード試食会」実施
 - 日時：平成28年11月28日(月) 17:00~18:30
 - 場所：フェニックス・シーガイア・リゾート コテージヒムカ
 - 参加者：58名(日向高校ラグビー部30名、宮崎銀行陸上部9名、県観光推進課3名、みやざき観光コンベンション協会5名、スポーツランドみやざき推進協議会1名、宮崎県ホテル旅館衛生同業組合1名、シーガイア コテージヒムカ1名、大塚製菓1名、栄養士会7名)
- 「アスリート弁当試食会」実施
 - 日時：平成29年3月28日(火)・(水)
 - 内容：昼食時に1,000Kcalのアスリート弁当試食
 - 対象：高鍋高校ラグビー部40名・日向高校25名
- リーフレットを作成・配布

<公2：県民のための管理栄養士・栄養士を育成する事業>

学術的知識、基礎から応用に至る実務技術、コミュニケーション技術、多様な職種との連携を築く力、職業人としての倫理などを習得させる研修会等を、養成課程と架橋された生涯教育制度の中で系列時に実施することにより県民の健康保持・増進を支援する取り組みの担い手として、多様な分野で高度の専門性を発揮し、豊かなケア力を備えた管理栄養士・栄養士を生み出す。

A. 主催研修会

『食をとおした県民の健康づくりの専門職である管理栄養士・栄養士が、あらゆる局面で適切な専門的支援ができるよう、学術的知識、コミュニケーション技術、基礎から応用に至る実務的な技術等を管理栄養士・栄養士に習得させるための研修会等を企画、実施する。』

(A-1. 生涯学習研修会)

県民の健康作りの専門職として必要な倫理や知識、ポピュレーションアプローチからハイリスクアプローチまで、総合的に県民の状況に対応する技術を習得させるために必要な研修会を下記のとおり企画・実施した。

① 6月11日(土)参加者数(会員:151名)

13:00~14:30 講演:「災害時の支援活動」

講師:宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター 医師 長嶺 育弘 氏

② 8月27日(土)参加者数(会員110名)

10:30~12:00 講演①:「国の動向と管理栄養士・栄養士に望むこと」

講師:宮崎県 福祉保健部 健康増進課 課長 木内 哲平 氏

13:00~14:30 講演②:「STAY YOUNG ~血糖下げてアンチエイジング~」

講師:宮崎県健康づくり協会 健康推進部 次長 平和台病院 医師 谷口 尚太郎 氏

14:40~16:10 講演③:「禁煙は健康への入り口 栄養士にできる禁煙支援」

講師:京都大学附属病院 呼吸器内科禁煙外来 医師 高橋 裕子 氏

③ 2/12(日)参加者数(会員:71名、会員外2名)

講演Ⅰ:「認知症の理解と援助について」

講師:北里大学東病院 精神神経科 大石 智 氏

講演Ⅱ:「栄養士に役立つコーチングについて」

講師:マザーズティーチャー 富永 千香 氏

(A-2. 地域別研修会)

延岡、日向、児湯、宮崎、都城、小林、日南の7地域に分かれ、「食・栄養・健康」をテーマとした研修会を下記のとおり実施した。また、管理栄養士・栄養士が地域に根付いた活動を行うためには、地域単位での情報が不可欠になるため、各地域での健康づくり等に関する情報の共有化を図り、課題に対する解決策を検討する場としても活用し、地域住民をきめ細かく支援できる管理栄養士・栄養士の育成を図った。

延 岡

7/23(土)(参加者:会員32名)

講話:「高齢者の栄養管理について」

講師:医療センター病院 管理栄養士 津貫 まどか 氏

日 向

11/26(土)(参加者:会員11名、会員外7名) *共催:ニュートリー(株)、晴峰商事(株)

① 講演:「嚥下障害と嚥下調整食」

講師:ニュートリー(株) 営業部 管理栄養士 多田 未来 氏

② 調理実演・試食:鮭の照り焼き、里芋の煮物 等

児 湯

6/22(水)(参加者:会員26名) *共催:薬剤師会

① 講演:「地域在宅医療における薬剤師と栄養士の連携について」

講師:九州東邦株式会社

② 講演:「在宅の病体別における食事指導について」

講師:キューピーフードサービス

宮 崎

8/20（土）（参加者：会員 13 名、非会員 3 名） * 共催：ホシザキ電機宮崎支店
内容：真空調理とクックチルの方法（プラスチックラー、スチコンの使い方等）

都 城

2/25（土）（参加者：会員 25 名）
講話：「糖尿病の食事療法に関する話題と私見」
講師：宮永病院 内科医長 西 勇一 氏

小 林

8/23（火）（参加者：会員 40 名） * 共催：小林保健所
① 講話：「大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく給食管理について」
講師：小林保健所 衛生環境課 主任技師 水永 夕葉 氏
② グループワーク「災害時の備えについて」

1/23（月）（参加者：会員 15 名）
① 講演：「高齢者の栄養管理について」
講師：小林市立病院 管理栄養士 温谷 恭幸 氏
② 講話：「災害支援の報告 -非常食品について-」
講師：ホリカフーズ(株) 馬場 智浩 氏
◆ 展示：非常食品、栄養補助食品 * 協賛：晴峰商事(株)

日 南

6/29（水）（参加者：会員？20 名） * 日南保健所との共催？
講義Ⅰ：「食品の栄養表示と保健機能食品制度について」
講義Ⅱ：「災害時の備えについて」
講師：日南保健所 健康づくり科 管理栄養士 二川 香織 氏

10/8（土）（参加者：会員 6 名、非会員 2 名） * 共催？：三和化学研究所
内容：「半固形化調理実習（カタメリンを使用して）」
講師：三和化学研究所 出口 愛美 氏

(A-3. 職域研修会)

医療、福祉、公衆衛生（教育・研究）、学校健康教育、地域活動、勤労者支援の 6 職域に分かれ、それぞれに所属する管理栄養士・栄養士の業務特性に由来する諸種の課題に応じ職域単位の研修会を下記のとおり実施した。

医 療

7/9（土）（参加者：会員 120 名、非会員 5 名）
① 講演「災害派遣にて学んだこと」
講師 都城市郡医師会病院 栄養管理室 管理栄養士 甲斐 純志 氏
② 講演「熊本地震災害支援」
講師 地域活動事業部（理事） 管理栄養士 黒木 直子 氏

- ③ 講演「災害を知り、災害から学ぶ～災害に、時なし、場所なし、予告なし」
講師 都城市郡医師会病院 救急科 医長 白尾 英二 氏

10/15 (土) (参加者：会員 61 名)

- ① 講演「体液輸液管理／訪問栄養指導について」スキルアップセミナー報告
講師 岡村病院 管理栄養士 新居 雅子 氏
- ② 講演「どうすれば病院栄養士は地域包括システムに関わっていけるのか」
講師 社会保険宮崎江南病院 管理栄養士 本吉 佳代 氏
- ③ 講演「これからの地域医療・地域包括ケアを考える」
講師 県立日南病院 医療管理部 地域連携部長 医学博士 木佐貫 篤 氏

12/4 (土) (参加者：会員 96 名、非会員 1 名) *共催：株式会社 テルモ

- ① 情報提供「終末期の栄養について」 株式会社 テルモ
- ② 講演「がん栄養の栄養指導充実を目指して」
講師 藤元メディカルシステム 藤元総合病院 管理栄養士 時任 映理 氏
- ③ 講演「栄養管理療法と胃瘻トラブル」
講師 市民の森病院 総合検診センター長 前田 啓一 氏
- ④ 講演「終末期がん患者のいのちを支える」
講師 聖路加国際病院 緩和ケア科 部長 林 章敏 氏

3/11 (土) (参加者：会員 48 名、非会員 4 名)

- ① 講演・グループワーク「栄養アセスメントについて」
講師 小林市立病院 臨床栄養室 管理栄養士 温谷 泰幸 氏

福 祉

2/4 (土) (参加者：会員 11 名、非会員 1 名)

- ① 講演「腸内環境と排便コントロールについて」
講師 宮崎ヤクルト販売 (株) 管理栄養士 黒木 雅子 氏
- ② グループワーク

公衆衛生

2/18 (土) (参加者：会員 14 名)

1. 地域包括ケアシステム構築における地域ケア会議について
- ① 視察報告 (大分県)・・・門川町役場 村田 麻衣子 氏
- ② 活動報告・・・都城市役所 水間 香里 氏
2. 災害時の栄養・食生活支援について
- ① 研修報告「日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) リーダースキルアップ研修」
報告者：都城市役所 竹下 玲奈 氏
- ② 災害派遣活動報告「熊本地震における派遣活動報告～栄養・食支援活動について～」
報告者：高鍋保健所 本武 明子 氏, 高鍋町役場 本部 比呂絵 氏
- ③ グループワーク・意見交換

学校健康教育

3/4（土）（参加者：会員 14 名、会員外 5 名）

講演「カーボカウントの考え方について」～健康教育における学校の取り組み～

講師 宮崎大学医学部 小児科 教授 澤田 浩武 氏

地域活動

5/21（土）（参加者：会員 14 名）

内容：地域包括ケア会議に出席するためのマニュアル説明会

(A-4.) 管理栄養士国家試験対策講座

管理栄養士の国家資格を取得するための国家試験対策模試を企画・実施した。

① 1/21（土）直前模試（参加者：会員 4 名、会員外 1 名）

② 2/19（日）直前模試（参加者：会員 5 名、会員外 2 名）

B. 共同研修会

『本会・自治体・関連団体からのそのおりの食事・栄養・健康に関する話題や政策的課題をもとにした依頼に応じ、またはこれと共同で、専門職として現に要求されている知識やスキルを向上させることを目的とした研修会を企画・実施する。』

(B-1. 宮崎県栄養士研修会) *宮崎県健康増進課 委託事業

宮崎県から委託を受け、県民の健康づくりの専門職として必要な最新の栄養学の技術を習得させ、栄養士の資質向上を図ることを目的とした研修会を下記のとおり企画・実施した。

○ 1/28（土）参加者：237 名（会員：125 名、会員外 112 名）

13：00～14：30 講演Ⅰ「腸内環境と健康 ～乳酸菌を味方にしたこれからの栄養とは～」

講師：東京女子医科大学病院 副院長 永田 智 氏

14：40～16：10 講演Ⅱ「体内時計が刻むリズムについて『栄養学』の観点から考える」

講師：宮崎大学 農学部 教授 榊原 啓之 氏

(B-2. 行政栄養士研修会) *宮崎県健康増進課 委託事業

宮崎県から委託を受け、「健康みやざき行動計画 21」を栄養・食生活の面から効果的に推進するために、市町村および保健所の行政栄養士の資質向上を図り、県民の健康づくりに資することを目的とした研修会を企画、実施した。

○ 3/6（月）参加者：70 名（会員：35 名、会員外：35 名）

13：00～14：30 講演「魅力ある食育の教材と教室づくり」

講師：兵庫県立大学 環境人間学部 教授 永井 成美 氏

14：45～16：00 講演「食育教室を体験してみよう」

講師： 同 上

(B-3. 宮崎県栄養士研修会) *宮崎県長寿介護課 委託事業

宮崎県から委託を受け、「介護・医療連携」を栄養・食生活の面から効果的に推進するために、栄養士の資質向上を図り、県民の健康づくりに資することを目的とした研修会を企画、実施した。

<他職種連携による地域ケア会議実践研修会>

9/25 (日) 参加者数 117 名

薬剤師 6 名、理学療法士 19 名、作業療法士 15 名、言語聴覚士 7 名、歯科衛生士 6 名、
介護支援専門員 5 名、保健師 3 名、管理栄養士・栄養士 56 名

13:05~14:00 講演「宮崎県の地域包括ケア推進について」

講師：宮崎県長寿介護課 医療・介護連携推進室 主幹 甲斐 慎一郎 氏
同上 技師 与那嶺 佑樹 氏

14:20~15:00 模擬地域ケア会議Ⅰ（関係職種参加のモデル会議）

専門職助言者：介護専門員、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
歯科衛生士、管理栄養士

15:00~15:40 模擬地域ケア会議Ⅱ（関係職種参加のグループ別会議 *研修会参加者全員）

16:00~16:30 全体討議

(B-4. 多職種との合同研修会)

多職種間の連携を取りながら県民の健康づくりに資することを目的とした研修会を企画、実施した。

<宮崎県歯科医師会との合同研修会>

日時：12/10 (土) 15:00~18:00

参加者：84 名（栄養士 38 名、歯科医師 41 名、歯科衛生士 2 名、言語聴覚士 3 名）

講演内容：①「避難所における要援護者への支援について」

講師：宮崎県歯科医師会 常務理事 黒木 康夫 氏

②「災害時の『食べる』支援について 齢者の在宅訪問について」

講師：警察歯科及び災害時対策会議 委員 後藤 大 氏

③「南阿蘇での口腔機能支援チームを体験して」

講師：警察歯科及び災害時対策会議 委員 西山 伸二 氏

④「歯科衛生士からみた災害支援と連携」

講師：宮崎県歯科衛生士会 会長 下地 光 氏

⑤「熊本大地震におけるリハビリテーション支援活動の実際」

講師：宮崎 J R A T 言語聴覚士 横山 茂幹 氏

⑥「熊本地震災害支援活動の実際を体験して」

講師：慈英病院 管理栄養士 戸高 布美子 氏

⑦「熊本地震災害支援活動について」

講師：日南保健所 管理栄養士 二川 香織 氏

(B-4. 宮崎市在宅栄養士研修会) *宮崎市委託事業

宮崎市から委託を受け、訪問栄養指導を効果的に推進するために、栄養士の資質向上を図り、市民の健康づくりに資することを目的とした研修会を企画、実施した。

<在宅栄養士研修会>

2/20 (月) 参加者数 17 名 (会員 : 14 名、会員外 : 3 名)

13 : 40~14 : 40 講演「ロコモ予防について」

講師 川越整形外科 理学療法士 常盤 直孝 氏

14 : 50~15 : 50 講演「歯と口の健康について」

講師 宮崎市保健所 歯科医師 櫛山 実寿 氏

16 : 00~16 : 40 事業説明「宮崎市のロコモ事業について」

宮崎市保健所健康支援課 保健師 木村 ひろみ 氏

講話「ロコモ予防の食事について」

宮崎市保健所健康支援課 管理栄養士 有田 洋子 氏

16:40~16:50 質疑応答

(B-5.日本栄養士会共同研修会)

県民が専門的な栄養分野において的確に指導が受けられるよう、様々な分野における専門的な知識・技術を習得させるため、日本栄養士会と共催で、全国的な動向や課題を即得つつ、最新の専門知識についての研修会を実施した。

<指導者のための健康栄養セミナー> (共催 : 大塚製薬株式会社)

10/22 (土) 参加者数 (会員 : 115 名、会員外 : 8 名、講師招待者 : 7 名)

13 : 05~14 : 35 講演 I : 「スポーツ栄養」

講師 : (株)Food Connection 公認スポーツ栄養士 橋本 玲子 氏

14 : 45~15 : 00 情報提供 *大塚製薬 (株) 担当者

15 : 05~16 : 35 講演 II : 「女性アスリートの体調管理と食事」

講師 : 宮崎県立延岡病院 明野 慶子 氏

<児童福祉施設におけるクッキング講座>

8/23 (火) 参加対象 (調理担当者) (参加者 : 調理 29 名、講義 35 名)

会場 (川南町農村環境改善センター)

講義① : 「離乳食の進め方とアレルギー食への対応」

講師 : 管理栄養士 奥口 広美 氏

講義② : 「災害時に調理師がすべき給食対応」

講師 : 管理栄養士 飛田 恭子 氏

調理実習 : スキムミルク入りタコライス、カボチャのラビオリの冷製スープ、豆腐ピカタのスキムミルクかけ、人参とせん切り大根のサラダ、チーズ馒头

講師 : 管理栄養士 木本 江美 氏

(C-1. 無料職業紹介事業)

- ・年間求人数 29 件
- ・年間求職件数 8 人

.....